

北海道各地から産出する黒曜石  
その43

## 赤井川地域～露頭写真～(Akaigawa Area)



写真1 曲川Aの露頭。山を削った露頭。火山灰質の土壌中には軽石や様々な岩片が多数含まれる。



写真2 曲川Aにおける黒曜石の産出状況。様々な礫に混じって角礫になった多くの黒曜石が数多く産出し、容易に採取できる。



写真3 曲川Bの露頭。曲川Aの露頭と同様に赤井川中心部より南部には火山灰に富む土壌が分布し、黒曜石が含まれる。



写真4 曲川Bでは、様々な礫に混じって角礫状になった黒曜石が産出する。黒曜石の表面は溶けて孔が多い。



写真5 土木川Bで採取。赤井川産を特徴づける、小さな球顆を含んだ黒曜石。流理構造がよく分かる。割れ口は貝殻状断口。



写真6 曲川Aで採取。火山灰質の酸性土壌によって表層部が溶け、たくさんの小さな孔が開いた黒曜石。



写真7 余市川Aで採取。目立った球顆は見られない良質な黒曜石は、赤井川産でもよく見られ、材料としても最適である。



写真8 赤井川開村百年記念碑。溶結凝灰岩。発泡していない部分は黒曜石ガラスになっている。土木川から採取された。

Mukai Masayuki

(学芸員 向井 正幸)

旭川市博物館HP

地学シートHP



# 地学Sheets

Asahikawa City Museum

